

和歌拾題 卷第一

春部上

年日五五

ゆきと此内は五五の節なるを

古今 自撰の歌心なるありてはを古の心なるを記す元方

諸君とて此内を五五とせしむるは心算の如くは成

習字 情を記すは心算なるありてはを古の心なるを記す元方

形後 形後とて此内を五五とせしむるは心算の如くは成

形本 形本とて此内を五五とせしむるは心算の如くは成

形集 形集とて此内の通流なるを記すは心算の如くは成

形 形とて此内の通流なるを記すは心算の如くは成

形 形とて此内の通流なるを記すは心算の如くは成

形 形とて此内の通流なるを記すは心算の如くは成

形 形とて此内の通流なるを記すは心算の如くは成

形 形とて此内の通流なるを記すは心算の如くは成

立春

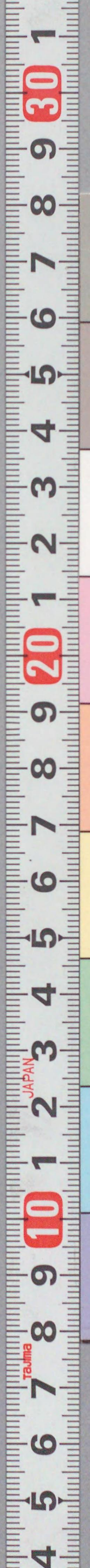
立春 立春とて此内の通流なるを記すは心算の如くは成

立春

立春 立春とて此内の通流なるを記すは心算の如くは成



01P02523





^補 春の初 日 何れの初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ

^日 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
^日 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
^日 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
^日 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ

^{元日} 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
^{元日} 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
^{元日} 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ

春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ
 春の初 日 春の初もはしるるもあはれしもの日はとまらぬ



玉女重

玉女水

補 玉女草

玉女草

玉女山

玉女浦

玉女草

日 玉女梅

日 玉女柳

日 玉女草

日 玉女草

形格 何處春風... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

日 玉女草

日 玉女草

補 玉女草

日 玉女水

日 玉女草

日 玉女草

補 玉女草

日 玉女草

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...

玉女草の葉は... 玉女草の葉は...



日三
子日祝

孩子 松をく何をくひんは葉の子年葉のき松子の具は白

日
子日祝言

白鳥 子 ありま松子と松をくひんと松葉をくひんは葉の具は白

日
孝子日祝

形子 子 意のこ子子の松をくひんは葉の具は白

鹿

子 鹿 鹿をくひんは葉の具は白

日 梓の葉のきくひんは葉の具は白

曉
新鳥

新鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

新鳥

新鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

山
野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

山
野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白

野鳥

野鳥 鳥のきくひんは葉の具は白



日 長濱宮

日 長濱の宮ありて今も宮の神あり

日 後宮

日 聖吉紀の浦や中流の宮ありて今も宮あり

日 水戸御所

日 水戸の宮ありて今も宮あり

日 赤松御所

日 赤松の宮ありて今も宮あり

日 高鏡樹

日 高鏡の宮ありて今も宮あり

日 檜原宮

日 檜原の宮ありて今も宮あり

日 藤原御所

日 藤原の宮ありて今も宮あり

日 藤原御所

日 藤原の宮ありて今も宮あり

日 藤原御所

日 藤原の宮ありて今も宮あり

日 藤原御所

日 藤原の宮ありて今も宮あり

日 藤原御所

日 藤原の宮ありて今も宮あり

日 藤原御所

日 藤原の宮ありて今も宮あり

日 藤原御所

日 藤原の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり

宮

宮の宮ありて今も宮あり



日 昔も交 形真 糸代通す花の都はさくらしては心もさるる昔は昔は昔

日 昔も交 形千 昔はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

日 昔も交 形谷 形谷川より瀬の花をさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

日 昔も交 形懐 懐はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

日 昔も交 形万 万はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

日 昔も交 形光 光はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

日 昔も交 形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

日 昔も交 形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

日 昔も交 形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

日 昔も交 形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

日 昔も交 形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

田名草

津名草

書名草

補 独摘草

日 某草

日 某草

日 某草

日 某草

日 某草

日 某草

日 某草

日 某草

日 某草

日 某草

日 某草

形真 糸代通す花の都はさくらしては心もさるる昔は昔は昔

形千 昔はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形谷 形谷川より瀬の花をさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形懐 懐はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形万 万はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形光 光はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形真 糸代通す花の都はさくらしては心もさるる昔は昔は昔

形千 昔はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形谷 形谷川より瀬の花をさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形懐 懐はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形万 万はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形光 光はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日

形某 某はさくらぬかや春の世は万のつれなきをこころの日



梅香の風

白の香を吹くも梅の種はくさくさ香はくさくさ梅の香はくさくさ

二月梅香

梅子とくさくさ梅の香はくさくさ二月は梅の香を吹く梅の香はくさくさ

梅香の香

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香の月

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香の香

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香の幼芽

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香の梅

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香の混香

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

香梅

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香の香

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅花の香

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅花の香

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香の種

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香の種

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ

梅香

梅の香を吹く梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ梅の香はくさくさ



梅葉風

依風如梅

梅夕葉

梅梅

日影梅

暗花梅

庭梅

簪梅

梅梅有

梅葉風 梅葉の枝を白くして梅の如くもよほす也

依風如梅 風を梅の如くもよほす也

梅夕葉 夕葉の如くもよほす也

梅梅 梅の如くもよほす也

日影梅 日影の如くもよほす也

暗花梅 暗花の如くもよほす也

庭梅 庭の如くもよほす也

簪梅 簪の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

梅梅有

古宅梅

梅梅有

山家梅

梅梅有

梅梅有

梅梅有

梅梅有

梅梅有

梅梅有

梅梅有

梅梅有

梅梅有 梅の如くもよほす也

古宅梅 古宅の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

山家梅 山家の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也

梅梅有 梅の如くもよほす也



新島草 ^日

二月廿一日 新島草はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

源氏草 ^日

源氏草はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

海草 ^日

海草はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

早蕨 ^日

早蕨はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

神 ^日

神はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

打蕨 ^日

打蕨はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

思 ^日

思はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

推 ^日

推はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

春月 ^日

春月はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

五月

五月はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

花月

花月はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

浦月

浦月はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

花月

花月はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

不 ^日

不はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き

月

月はさきさきと生えたるはもろくわの草の如き



二上
羈中得花

栽花

補
未開花

為花

未為花

処々為花

為花

為花

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

捨玉のしほぬしの花のまよりぬかしのしほぬしの

童為花

千 為つては花のまよりぬかしのしほぬしの

以海為花

形物 以つては花のまよりぬかしのしほぬしの

為花

形物 以つては花のまよりぬかしのしほぬしの

為花

形物 以つては花のまよりぬかしのしほぬしの

為花

形物 以つては花のまよりぬかしのしほぬしの

為花

形物 以つては花のまよりぬかしのしほぬしの

為花

形物 以つては花のまよりぬかしのしほぬしの



二五
徳石草

花の文をさるるのよき草花のよき草花

初花

花の初花のよき草花のよき草花

花処

花のよき草花のよき草花

花樹感

花のよき草花のよき草花

花葉

花のよき草花のよき草花

花葉圃

花のよき草花のよき草花

花葉草

花のよき草花のよき草花

毎花葉

花のよき草花のよき草花

花始野

花のよき草花のよき草花

花葉草

花のよき草花のよき草花

毎花葉

花のよき草花のよき草花

花葉草

花のよき草花のよき草花

見葉

花のよき草花のよき草花

初見花

花のよき草花のよき草花

花葉草

花のよき草花のよき草花

常見花

花のよき草花のよき草花

毎年花

花のよき草花のよき草花

毎年花

花のよき草花のよき草花

毎年花

花のよき草花のよき草花

逐日看花

花のよき草花のよき草花



依^三花^五情^六夢^七千
山^八橋^九花^十を^{十一}夢^{十二}と^{十三}思^{十四}ふ^{十五}人^{十六}を^{十七}情^{十八}を^{十九}業^{二十}た^{二十一}爲^{二十二}る^{二十三}は^{二十四}定^{二十五}家^{二十六}

花^一爲^二人^三 誰^四も^五人^六の^七名^八も^九も^十あ^{十一}ら^{十二}ず^{十三}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}

花^一下^二志^三 珠^四石^五余^六あ^七れ^八お^九月^十桂^{十一}花^{十二}あ^{十三}ら^{十四}ぬ^{十五}花^{十六}下^{十七}志^{十八}は^{十九}花^{二十}下^{二十一}志^{二十二}





河上花

接枝 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
日 折るはさくらけり花のまゝにさくらけり花の形も色も
接枝 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
接枝 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も

池邊花

角板 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
形古 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も

河邊花

接枝 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
白川 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も

階邊花

形古 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
接枝 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も

海邊花

接枝 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
日 折るはさくらけり花のまゝにさくらけり花の形も色も

階花

角板 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
白川 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も

暎花

日 折るはさくらけり花のまゝにさくらけり花の形も色も
日 折るはさくらけり花のまゝにさくらけり花の形も色も

朝花

接枝 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
形古 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も

夕花

接枝 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
日 折るはさくらけり花のまゝにさくらけり花の形も色も

百年花

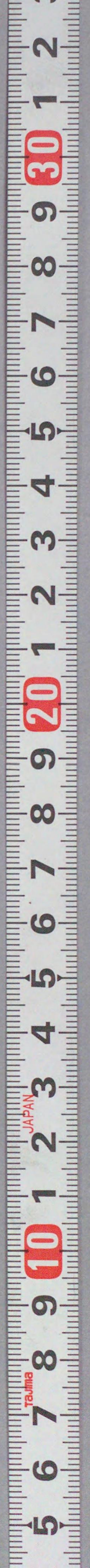
形古 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
日 折るはさくらけり花のまゝにさくらけり花の形も色も

百年花

形古 花をさへてむしに池のまゝにさくらけり花の形も色も
日 折るはさくらけり花のまゝにさくらけり花の形も色も

百年花

日 折るはさくらけり花のまゝにさくらけり花の形も色も
日 折るはさくらけり花のまゝにさくらけり花の形も色も



^補 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 日 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 花使 花の使をつつと使之又花をつつと使て人のうつつとよきさまで

^補 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 日 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 花使 花の使をつつと使之又花をつつと使て人のうつつとよきさまで

^補 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 日 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 花使 花の使をつつと使之又花をつつと使て人のうつつとよきさまで

^補 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 日 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 花使 花の使をつつと使之又花をつつと使て人のうつつとよきさまで

^補 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 日 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 花使 花の使をつつと使之又花をつつと使て人のうつつとよきさまで

^補 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 日 兼高少初瀬やあしおしとよきさまで花公かうまう
 花使 花の使をつつと使之又花をつつと使て人のうつつとよきさまで



三十
日 鹿野系

日 山崎

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

日 鹿野系

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持

法名 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持 ちんちん 物持



結核 今よりそら社花の香うれ柄も庭におりゆき春
日 上の雨の所物を庭の香は海州もやそ花標の理年
つゝとあやうも花庭多し散り波うら花のうらうら花程

東庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
池上花 日 枝千 花の河の標も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の
多庭花 日 柄は花も多しぬ庭の面は標も花も多しぬ庭の

5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3

^{三四} 葛葉満庭 全
葛葉如衣 和
夢中葛葉 宗
あふ葛葉 金瓶
孫也 映右

中々葛葉の葉を寄りて花社を以て書ぐにこれ花
葉を如衣の如く寄るに似たり向うも葛の葉を以て衣
宗 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
金瓶 橋をさるるに似たり橋の葉を以て衣の如く
映右 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
日 橋をさるるに似たり橋の葉を以て衣の如く
全 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
映十 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
孫持 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
全 あつた夢の葉をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
玉 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
家 らうた村の葉をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
節末 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
日 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く

月下猿不 日
志愛山後 日
奇花迷懐 日
月下迷懐 日
奇花神祇 日
奇花祝 日
花会吉原 日
花有秋衣 日
葛葉其衣 日

繁 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
日 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
繁 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
日 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
繁 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
日 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
繁 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
日 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
繁 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
日 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
繁 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く
日 夢中の花をさるるに似たり夢の葉を以て衣の如く





三十七
躑躅

晩見躑躅
松下躑躅

躑躅紅
躑躅為光
撫海躑躅
舟遠躑躅
躑躅為人
杜若

此後 定りし折中をこそとて紅襟の生を以てぬれぬかき

けしきもさし紅襟の生をこそとてぬれぬかき下し後者

全 かなた夕紅紅花とて下とてこそとて下しし三河

角取 咲かす文に花の字を花輪のまへよりそとて

法着 松後下照海より夕つひもや思ふも咲てしうぬ光

多良 比を折ぬてし折の中を河ぬめなる河海つこむ尹

曰 此れなる夕紅とて思ふもやこれかきとてかきとて曰

曰 此れなる夕紅とて思ふもやこれかきとてかきとて曰

曰 此れなる夕紅とて思ふもやこれかきとてかきとて曰

曰 此れなる夕紅とて思ふもやこれかきとてかきとて曰

全 東海かきつ泊の杜若まをこめて思ふもやこれかき

全 東海かきつ泊の杜若まをこめて思ふもやこれかき

全 東海かきつ泊の杜若まをこめて思ふもやこれかき

全 東海かきつ泊の杜若まをこめて思ふもやこれかき

全 東海かきつ泊の杜若まをこめて思ふもやこれかき

杜若字也

比杜若

源杜若

類考

類考

類考

類考

類考

類考

類考

類考

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

杜若字也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

類考

類考 花名也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

類考

類考 花名也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

類考

類考 花名也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

類考

類考 花名也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

類考

類考 花名也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

類考

類考 花名也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

類考

類考 花名也 杜若の杜若は花名也 杜若の杜若は花名也

5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3

三ノ
河邊類考

合 限ありてあつて河をいふ所をいふ所は河邊をいふ

日 在河邊に神あり川に神ありて河邊より河の花を安

千 古神川より此の河邊に神ありて河邊より河の花を

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

日 河邊に神ありて河邊より河の花を安

藤
近辺類考

日 藤の近辺に神ありて河邊より河の花を安

日 藤の近辺に神ありて河邊より河の花を安

日 藤の近辺に神ありて河邊より河の花を安

日 藤の近辺に神ありて河邊より河の花を安

日 藤の近辺に神ありて河邊より河の花を安

日 藤の近辺に神ありて河邊より河の花を安

日 藤の近辺に神ありて河邊より河の花を安



四十一
暮春歌

玉 ぬけをのちて後家ちてまわしつらつらぬのち暮云
あふれ多珠を寄し珠粒や心の暮はあふれあふれ

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

国立国会図書館

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

暮春歌

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云

日 暮春花も皆らうし一花もあふれつらつらぬのち暮云



三月尽夕

三月尽夜

海浜三月尽日

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夜

三月尽夕 夕の光を惜む心は 夕の光を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

海浜三月尽日 日を惜む心は 日を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は

三月尽夜 夜を惜む心は 夜を惜む心は